

# クローズアップ

この会社のココに注目!

岐阜支店発

## (株) ティーシージャパン

(TDB企業コード 450352352)

### アスベスト除去のプロ集団

学校や官公庁の庁舎、工場やオフィスビル、集合住宅など様々な物件に現在も残っているアスベスト。企業の設備投資や庁舎の建て替えなどでは、厄介物のこのアスベスト処理が業界内では共通の悩ましい課題となっている。アスベスト処理に関しては、調査段階から高い専門性が必要であるほか、安全面への配慮も求められるため新規参入業者は少ない。

当社は2007年8月設立と後発ながら、設立当時からアスベスト除去工事に特化し、国内での適正処理のニーズが高まっていることも重なり、事業は順調な拡大局面にある。さまざまな解体現場に携わるなかで、アスベストの除去に関するノウハウと技術を蓄積し、これが強みとなって取引先からの継続的な建物解体に関する新規案件の獲得に繋がっている。

とりわけ、取引先と共同開発した外壁のアスベスト除去工法（バキュームウォータージェット）が評価され、認知度も高まり、大規模な建物解体現場での施工も増えている。また首都圏での工事も格段に増え、東京都下に1拠点、千葉県内に1拠点の営業所を開設、今年2月には大阪営業所も開設した。2009年7月期には約1億6000万円だった売上高は、2015年7月期は約8億円と大幅な増収を達成、今期は10億円の突破も視界に捉えている。

さらに、今後の成長を見据えて、石綿円筒管の除去に関する新工法『湿式削孔ドリル工



アスベスト除去作業の様子

法』を取引先と共同開発した。石綿円筒管は、老朽化が進んだ集合住宅の風呂釜用煙突として使用されていることが多く、今後このような建物の解体や建て替えの際に、先行して撤去することが必要とされる。これまでの工法に比べて綺麗に撤去できるばかりか、騒音を抑えつつ工期短縮により環境に配慮した施工ができるメリットがある。この工法は、現在建設技術審査証明の取得を目指しており、取得後は普及が一段と進むと期待している。このほかにも関連会社を設立し、ドローンを利用した産業廃棄物処理場や橋梁の調査を行う事業にも本格参入する準備も行っている。

全社員が事業に誇りを持って取り組んでいることから社員の定着率も高い。既存事業のさらなる成長に加えて、新工法や新事業が本格化すれば、5年後の売上高目標に見据えた20億円の達成も現実味を増してくるだろう。技術革新にも抜かりなく、‘環境に優しい’当社のさらなる躍進に期待が集まる。

(取材・文/岐阜支店 勝山 洋平)  
— 会社概要 —

#### (株)ティーシージャパン

本社:岐阜県加茂郡川辺町下川辺 594-3  
代表:山下 真氏(1972年生、岐阜県出身)  
業種:アスベスト除去工事 従業員:27名  
設立:2007年8月  
資本金:300万円  
年売上高:約8億円(2015年7月期)  
URL:<http://tc-japan.net/>